

第 202 回
定例探鳥会

日時：2003 年 10 月 12 日 (日) 天候：小雨のち曇り
コース：高来神社 大堂 浅間山

今日は早朝から小雨模様で参加者もちらほら、どうしようかと話していると集合時間を過ぎる頃になると雨もだいぶおさまり決行することになりました。
山の中は雨のときはしずくが外よりは少ないのですが、雨がやみ始めると逆に葉に付いた水滴が雨のように落ちてきて逆に濡れてしまうような感じです。

夏ごろのヒヨドリの閑散した山にもヒヨドリが戻り、数が増えてきてにぎやかです。カケスのトビのものまねも聞かれアレ?という場面もあったりしました。今日は山の中ではメジロとシジュウカラが多く見られ、渡りのヒタキ類も期待したのですが浅間山では残念ながら確認できませんでした。逆に冬鳥のモズやツグミの仲間のツイーという声が聞こえ、冬鳥たちがやってきたようです。

鳥の種類は少なかったのですが、それでも浅間山ではアオゲラの が何度も姿を見せてくれて十分堪能することが出来ました。
雨の中参加して下さった方々へのごほうびですね。

参加者		参加人数 15 名 (敬称略)		
1. 下倉 紘一	2. 佐藤 忠史	3. 八木 正	4. 福田 適	5. 吉田 宣子
6. 山田 文則	7. 中村 豪夫	8. 須藤 鋭一	9. 木田 ハマ	10. (田端 裕)
11. (西ヶ谷修一)	12. (岩佐 昌夫)	13. (内山規矩雄)	14. (金子 典芳)	15. (斎藤常實)

見聞きした鳥		種類数 16 種 (ドバトを含む)		
1. タカの仲間	2. キジバト	3. アオバト	4. ドバト	5. アオゲラ
6. コゲラ	7. ハクセキレイ	8. ヒヨドリ	9. モズ	10. ツグミ SP
11. エナガ	12. ヤマガラ	13. シジュウカラ	14. メジロ	15. カケス
16. ハシブトガラス				

大磯文化祭が11月8日(土)～10日(月)に開催されます。毎年こまたんがいろいろな作品や、アオバトに関するものを展示しています。今年はアオバトの幼鳥の物語『ぼく、アオバトの幼鳥!』、大磯の貝など面白い展示物が多数あります。ぜひご覧ください。

第2回 BINOS 研究発表会

10月18日、横浜ランドパークタワーでBINOS 研究発表会がありました。こまたんはトップバッターとして1時間を使って丹沢でのアオバト繁殖調査について発表しました。本邦初公開のアオバトの繁殖を記録したビデオを上映した後、斎藤さん、金子さん、内山さん3名が、時おり笑いを交えながら、調査の様子を掛け合い形式で話しました。そのときの雰囲気をごまたんメンバーのEメールからお伝えします。

- ・ 昨年調査を終えやっと正式発表までこぎつけました。

今回 BINOS 10号には 丹沢山地堂平におけるアオバトの繁殖調査 大磯町西部虫窪地区における冬季のアオバトの観察記録 の2編が掲載されました。

BINOS の編集後記 - 10号の刊行を終えて - の中に浜口さんが『特に、サンコウチョウ、アオバトなど、長い時間をかけてその生活史をじっくり追研した報文を数多く掲載できたことは、鳥を見る趣味がファッション化する一方で、深く根付いてもきていることの喜ぶべき実りだと感じられた』と書いています。いやーこの言葉うれしいですね。

そしてもう一つ会場でうれしかったことは昨日は言わなかったのですが、実はゾーンときてしまったことがありました。司会の方が報告した私たちだけでなく、会場にいるこまたんメンバーを全員立たせて紹介してくれたことです。今回の調査は個人でなくこまたんメンバー全員の成果であり、今回の発表も一人でなく複数で壇上に立ちたいとこだわったのもそこにありました。そこを汲みとってくれた司会者の配慮、こまたんの活動を感じ取ってくれたのかな？そして鈴木茂也支部長の閉会の言葉で『一番印象に残ったのはこまたんメンバーの楽しそうに報告する姿だった』という言葉に、昨日はこまたんデーでしたね。

田端さんの『楽しいを唯一のキーワードに活動してきた成果だと思います』、こんな単純なキーワードを実践してきて、展示会も楽しむ、調査して楽しむ、報告して楽しむ、成果が無くても楽しむ、昨日の反省会も横浜の夜景とともに忘れられない夜になりました。



- ・ 本研究発表会の参加者の4分の1をこまたん関係者が占めることに...スゴイですよ。大阪から参加してくださった小山(こまたん大阪支部長)夫妻に大感謝です。

金子・内山・斎藤のトリオ、ご苦労さまでした...というより余裕の発表でしたね。

当事者の私たちでも感銘を受けた発表でした。

“楽しい”を唯一のキーワードに活動してきた成果だと思います。今後も大いに遊びましょう。

定例探鳥会 200 回記念展示会 レポート ~ その2

10月2日から7日までひらつか市民プラザで行われた定例探鳥会 200 回記念展示会は6日間で1,098名の入場者を数え、大盛況でした。展示会の様子は前号で報告しましたので、今回は来場者の方に会場で書いていただいた感想文をご紹介します。原文のまま。敬称は略させていただきます。

- ・ 鳥だけでなくそれに関連するもの植物や貝の名前などいろいろあることを知ることができてたいへん勉強になりました。また、いろいろな鳥のみならず広がってゆくこと楽しみにしております。

- ・ 鳥のつく植物と貝の展示コーナー及び鳥の変化に図標、高麗山の植物、蝶、など鳥と植物との関係が見えて興味深く拝見させて頂きました。又鳥のガーピングを見てその説明を聞いて又又非常に驚きました。その精密な完成度はとても真似のできる事ではありません。とりの色付体験もさせて頂き、又それを頂いてしまいとてもうれしく、又いい土産になりました。ありがとうございました。この展示会に参加させていただいて感じた事は、私と違う人があるんだ、こんな素晴らしい事をなさっている人達がられる事はとても信じられない位です。これからも鳥の観察を通して他分野へ広がる事を大いに期待します。(加藤 卓也)
- ・ とりのぬるのがおもしろかったです。こんどはたんちょうかいきたいです。(すずき たくま)
- ・ 子供が窓にならぶ鳥にさそわれて”入りたい”と言うので飛び込んだのですが、きれいな写真を色々見ていやされました。平塚はまだまだ遊ぶ所がいっぱいありそうですね。中のスタッフ?の方もやさしく子供に色々な事をおしえてくれました。ふだん子供から鳥の名前を聞かれても答えられない問題も、スタッフの方におまかせして、おしえていただきありがとうございます。自然にふれる時間をつくりたいので探鳥会にできるだけ参加してみたいです。(岩崎 佳代子)
- ・ とり、植物、絵、そして可愛らしいアオバトの色つけ嬉しく楽しく感動しました。素晴らしい展示ありがとうございます。
- ・ こまたんメンバーとして3年目になりましたが、まだまだ知らないことがあり、いろいろと教えていただきました。ありがとうございました。結構、地道な展示物がありました。大変な作業だと思いました。これからもがんばって下さい!(こまたん藤沢支部 石原 遼)
- ・ 地道なデータを続けて調べられていらっしゃるのに感心しました。いろいろ教えていただきありがとうございました。
- ・ 鳥、蝶、花と興味のある展示でとても充実したひとときでした。鳥の絵付けも楽しかったです。
- ・ 今日はずばらしい出会いがありました。?年(10年以上)ぶりかで松下さんにお目にかかれて本当に嬉しかったです。我が家の庭にいつもやって来る小鳥の名前も知ることができました。シジュウカラです。(10月2日 真壁)
- ・ 10月2日 高麗の自然に触れさせていただきとても気持ちがなごみました。野鳥の観察、草花、自然の感動をみせていただき、とても幸福なときをすごさせていただきました。ありがとうございました。(照井 満利子)
- ・ H15,10,2 いつも、ふだん見ている鳥の名前が少しわかりました。野の花の「地獄の釜のふた」などの名前にびっくり、本当かしらと思いました。
- ・ 探鳥会 200回おめでとうございます。20数年続けることは素晴らしいことです。この記録、大磯の宝です。これからも是非続けてほしいと思います。機会を見て参加してみようかなと思います。(古賀)
- ・ 鳥との出会いが楽しみで時々探鳥会に出かけます。こまたんの200回記念展に来て驚きました。花、蝶、貝、絵、写真カーピングというんな楽しみ方があるんですね。調査は丁寧にデータを集めてこられた様子がよく分りすごいなと思いました。楽しませていただきありがとうございました。
- ・ 多様な展示物が皆こまたん参加者の方々が作成したものと聞いて驚きました。細かい物から可愛らしい物迄、人の目を引く展示物には例にもれず、魅入れらせて頂きました。更にこまたんの歴史。野鳥発生の移りかわりなどこれまでのことにも沢山気をひかされ、おもしろかったです。

- ・今日はありがとうございました。楽しい展示を見せて頂きました。説明も面白かったです。がんばってください。
- ・すばらしすぎて言葉がありません。とても、とてもすばらしいー、一言です。
- ・メンバーも皆様の多彩ぶりに驚くばかりでした。花の写真、西ヶ谷様の鳥の絵、バードカービング...。それぞれの力作に感動しました。観察記録と興味深く拝見、皆様のご努力に頭がさがるばかりです。(黒田美佐子)
- ・鳥好きの人々が集まって、鳥好きの人々の愛情がこんなすばらしい展示会になって、見せていただきありがとうございます！ 沢山の人がこの会場で小鳥と花に出会って、さらに新しい発展がありますように... 祈ります。(カウント参加者 矢内 寿美子)

なるほど・ザ・野鳥 (No.12)

野鳥たちの不思議な行動や生態のおもしろい話をインターネットなどから集めています。それらの中から一つか二つずつを紙面に余裕があるときにこのコーナーで紹介していきます。

(14) ペニスを持っている鳥って、知ってるか？ - 鳥の交尾

哺乳類、鳥類、爬虫類、これらの動物は体内受精を行います。雄の精子を直接雌の体内に送り込むために交尾という生殖行為を行います。

鳥の交尾は大多数のものが両性の総排泄孔の開口部を直接接触させることによって交尾を行います。これらの鳥の雄はペニスを持っていません。しかし、鳥の中でもガンやカモの仲間、ダチョウ、エミュー、ヒクイドリ類、ホウカンチョウなどはペニスを持っています。これらのペニスを持つ一部の鳥類と哺乳類、爬虫類のペニスは発生学的には相同の器官ですが、鳥類のペニスは哺乳類のように尿道がペニスの内部を貫通していないことや、包皮に包まれていないことなど構造上のいくつかの点において異なっています。

【お知らせ】

大磯・文化祭

日時：11月8日(土)～10日(月) 10時～19時(初日は11時開場、最終日は18時終了)
場所：大磯 滄浪閣 バンケットホール

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 12月6日(土) ... 第一土曜日

鷹取山 12月13日(土) ... 第二日曜日

集合時間が**午前7時に変わっています**。高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合です。

午前中に解散。雨天中止

連絡先：岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は2003年12月14日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第201号 / 11月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www2u.biglobe.ne.jp/komatan/>
日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmj.or.jp/wbsj-k/>